

事業評価書

補助事業名	通信施設:共同受信施設改修事業				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市鶴ノ木1-33他46箇所				
補助事業の成果の目標	<p>狭山市では、入間飛行場に飛来する航空機を原因とするテレビ受信困難地域において、都市型CATV対応施設整備により、受信困難地域のテレビ視聴環境を整備してきており、今後も引き続き当該施設を維持していくことが求められている。</p> <p>しかし、当該施設を構成する鋼管柱及びケーブルの一部においては老朽化が著しく、平成25年9月に鋼管柱が腐食により倒れたことで、家屋の外壁を直撃し、損傷を与えた。その後、鋼管柱の状態調査を実施したところ、鋼管柱の腐食が確認されたことから、順次、鋼管柱の撤去及びケーブルの張替を実施する。</p> <p>撤去後の鋼管柱の新設は行わず既存の電柱に共架することとすることにより、民地、住宅密集地に存在する鋼管柱が無くなり、住民の安全の確保を図ると共にケーブルの張替により、視聴環境の維持を図る。</p> <p>【参考指標】 更新を必要とする鋼管柱 151本(令和元年8月時点) 更新の経過 H28 87本 H30 94本</p>				
補助事業の内容	鋼管柱の撤去及びケーブルの張替				
補助事業の始期及び終期	平成29年度から令和2年度				
事業費及び交付金額		平成30年度以前	令和元年度	令和2年度以降予定	計
	事業費	円 35,738,604	円 12,100,000	円 39,072,000	円 86,910,604
	交付金額	円 31,258,000	円 9,500,000	円 32,000,000	円 72,758,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 周辺住民に聞き取り調査を実施した結果、改修前は老朽化した鋼管柱に不安を覚えていたり、景観が悪い等の意見があったが、改修工事後には解消されたといった回答が得られたため、周辺住民の安全確保、生活環境の改善が図られたと判断する。また、視聴環境に関して悪化したとの意見は無かったことから、視聴環境は維持できたものと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び市公式ホームページに掲載住民へのアンケート調査用紙に記載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	教育文化施設:入曽地区地域交流施設(仮称)新築工事(外構)				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市大字南入曽字前原428番3				
補助事業の成果の目標	<p>狭山市立入曽公民館は昭和48年5月開館以降、地域の生涯学習、社会教育の拠点施設としての役割を担ってきたが、築後43年が経過し、施設の老朽化が著しく、また、バリアフリー対策や耐震性能も十分でなく、公民館利用者をはじめ地域住民から施設の建替え要望が出されていた。</p> <p>こうした中で狭山市は、公民館の今後のあり方を踏まえ、入曽公民館については、コミュニティ供用施設としての地域交流施設として更新することを決定した。新しく整備する入曽地区地域交流施設(仮称)は、入曽地区住民の意見や要望を踏まえ、従来の公民館の機能を維持しながら、地域住民のコミュニティ形成の交流拠点施設とともに、様々な災害等に対応する防災等の拠点施設に資することで、住民の生活環境の改善を図る。</p> <p>【参考指標】平成30年度入曽公民館利用者数 55,258人</p>				
補助事業の内容	外構工事(アスファルト舗装等)				
補助事業の始期及び終期	令和元年度				
事業費及び交付金額		平成30年度	令和元年度	令和2年度	計
	事業費 (内は交付対象事業費)	円 0	円 93,280,000 (88,843,480)	円 0	円 93,280,000 (88,843,480)
	交付金額	円 0	円 36,276,000	円 0	円 36,276,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]</p> <p>令和2年4月1日に入曽地域交流センターとして供用開始したが、新型コロナウイルスの感染拡大防止という観点から、施設の貸出は6月19日から実施となった。このようなコロナ禍であるが、10月1日から1ヵ月間、利用者アンケートを行ったところ1,344名から回答を得た。その結果、7割以上の方から「部屋数や駐車台数が増えて、利用しやすくなった」、「災害時の指定緊急避難場所でもあり、安心して利用できる」、「利用者相互の交流がしやすい」など、高い評価を受けた。また、4月には集中豪雨時等の指定緊急避難場所として活用されており、地域住民の生活環境の改善が図られている。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]</p> <p>基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び市公式ホームページに掲載防衛省の補助金を受けていることを施設入口に掲示</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	消防に関する施設:消防ポンプ自動車購入				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市大字南入曾627				
補助事業の成果の目標	<p>消防組織法第9条において、市町村に消防団の設置が義務付けられているなかで、総務省消防庁から告示された「消防操法の基準(昭和47年消防庁告示第2号)」を満たす必要があることから消防団に消防車両を配備して、地域の防災力を低下させることなく維持することを図り、地域住民の安心・安全な生活環境を整備する。このような中で、平成12年9月に配備した狭山市消防団第3分団第1部の消防ポンプ自動車が、狭山市消防団消防自動車等の更新計画に基づく車両更新期間(18年)を満了していることから、車両の更新する。</p> <p>【参考指標】 第3分団第1部団員数(平成31年4月1日現在) 18名 平成30年度における水火災への第3分団第1部の出動件数 33件 平成30年度における第3分団第1部の出動延べ人員数 383名</p>				
補助事業の内容	消防ポンプ自動車(CD-I型)購入				
補助事業の始期及び終期	令和元年度				
事業費及び交付金額		30年度以前	令和元年度	令和元年度以降予定	計
	事業費	— 円	19,430,660 円	— 円	19,430,660 円
	交付金額	— 円	10,000,000 円	— 円	10,000,000 円
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 消防ポンプ自動車を購入(更新)したことで、故障等の不安が解消されるとともに、ホースカーを導入したことにより、消火活動時のホースの展開が早くスムーズに行えるようになり、現場到着から放水までの初期消火活動までにかかる時間を短縮することができた。このことにより、地域の防災力・消防力の充実強化が図られ、災害を最小限に抑えることが可能な、安全安心な生活環境を整備することができた。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 消防ポンプ自動車左右側面に、防衛省の交付金を活用して整備した旨を明記。基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」に掲載。狭山市公式ホームページ及び狭山市消防団ホームページに掲載中。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	狭山市総合計画実施計画に基づき、非常備消防機械施設等整備事業として消防自動車の更新事業を実施していく。				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	消防に関する施設:防災備蓄倉庫購入				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市堀兼1234番地 他3か所				
補助事業の成果の目標	<p>当市では、市内の指定避難所等に防災備蓄倉庫を設置し、災害発生時の応急対策活動の円滑化を目的に、当面必要な食料、生活資材、活動用機材等を備蓄している。しかし、既存のコンテナ式防災備蓄倉庫については、設置後30年以上が経過し、老朽化に伴う損傷が著しく、食料や飲料水等の備蓄環境には適していない状況である。</p> <p>そこで、令和2年度を目標に、既存のコンテナ式防災備蓄倉庫23箇所について、蓄電池機能を備えた太陽光発電設備やLED照明、換気扇、非常用コンセントなどを備え付けたコンテナ式防災倉庫への更新整備を進めるとともに、新たに指定避難所となる施設等9箇所と同様の防災備蓄倉庫を設置し、迅速な物資供給体制を整備することにより、指定避難所の防災機能及び自立機能の強化を図る。</p> <p>なお、今年度は既存の防災備蓄倉庫2箇所の更新及び指定避難所2箇所への新規設置を行う。</p> <p>【参考指標】 ・コンテナ式防災備蓄倉庫設置箇所数 (太陽光発電設備等付) 既設箇所数 27箇所／計画箇所数 32箇所</p>				
補助事業の内容	防災備蓄倉庫の購入(新規:2箇所 更新:2箇所)				
補助事業の始期及び終期	平成26年度から令和2年度				
事業費及び交付金額		平成30年度まで	令和元年度	令和2年度予定	計
	事業費	円 88,644,618	円 13,420,000	円 3,318,000	円 105,382,618
	交付金額	円 79,170,000	円 12,000,000	円 3,000,000	円 94,170,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 今年度の整備が完了したことで、市のコンテナ式防災備蓄倉庫更新・新規設置計画の達成割合は31箇所と全体の約96%に達していることから、指定避難所における防災機能、自立機能の強化が図られたと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 ・倉庫扉に防衛省の交付金を活用して設置した旨を掲示 ・市公式ホームページ、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」で周知</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	交通施設:市道幹第32号線外1線改良舗装				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市 新狭山1丁目 地内				
補助事業の成果の目標	<p>本市では、既設幹線道路の舗装の劣化に対し、計画的に改良舗装工事を行い、交通の安全性、生活環境の改善を行っている。</p> <p>当路線は川越市境を起点として市の中心部、国道16号線及び入間川を横断し、隣接する日高市に抜ける幹線道路として40年前に整備された重要な路線であり、川越狭山工業団地に隣接しているため大型車交通量や夜間通行が多い。近年では都市計画道路川越駅南大塚線の開通による通過交通や宅地開発が進み、車両交通も増加。舗装の劣化による破損が著しく車両通行の安全性の低下や、交通騒音・振動等に伴う地域の生活環境の悪化が生じている。</p> <p>そこで、舗装を打ち替えて平坦性を確保することで、交通の安全性や地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 既設幹線道路にかかる今後3年間の舗装改修計画 8路線/延長:5090m※ ・うち当路線の計画延長 : 770m(※に対する割合15.1%) ・うち令和元年度整備延長 : 240m(※に対する割合4.7%)</p>				
補助事業の内容	<p>全体工事延長 L=770m (R1年度 L=240.0m) (R2年度 L=340.0m) (R3年度 L=190.0m) 道路幅員 W=8.0m 舗装工 一式</p>				
補助事業の始期及び終期	令和元年から令和3年度				
事業費及び交付金額		令和元年度	令和2年度	令和3年度	計
	事業費	円 22,940,500	円 36,800,000	円 20,259,500	円 80,000,000
	交付金額	円 19,000,000	円 28,000,000	円 14,000,000	円 61,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 当初の計画通り事業を完了したこと、並びに、地域住民等へのアンケートの結果、路面の平坦性、騒音及び振動等が改善されたとの回答が得られたことから、交通の安全性や地域住民の生活環境の向上が図られたと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 工事のお知らせ、工事看板、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び狭山市公式ホームページに調整交付金活用事業であることを掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	<p>令和元年度より3年間の事業であり、本年度施工予定の240mが完了した。</p> <p>当該区間における交通の円滑化及び走行性の向上が得られたことから、今後も引き続き舗装の打ち替えを進め、交通の安全性や地域の環境改善に努めていく。</p> <p>また、アンケート結果の質問の回答において「どちらともいえない」回答が一定数あったことについて、舗装修繕事業に対する関心の低さが伺えたが、質問4の意見・要望では、施工区間が工業団地に接しているため沿道住民が少なく夜間作業であったことから、苦情もなく好意的な意見が多かったようである。</p> <p>今後も苦情がないよう引き続き事業を推進していくと共に、工業団地会を通じてアンケートを実施し、より広域な意見収集を図りたい。</p>				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	交通施設:市道幹第57号線改良舗装				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市 大字堀兼・大字上赤坂 地内				
補助事業の成果の目標	<p>本市では、既設幹線道路の舗装の劣化に対し、計画的に改良舗装工事を行い、交通の安全性、生活環境の改善を行っている。</p> <p>当路線は古くから草刈街道として親しまれ、主要地方道川越入間線から、主要地方道川越所沢線を結ぶ県道を補完する幹線市道として重要な路線である。</p> <p>近年では、隣接する川越狭山工業団地の物流ルートとして大型車交通量が増加し、舗装の劣化による破損が著しく車両走行の安全性の低下や、交通騒音・振動等に伴う地域の生活環境の悪化等が生じている。</p> <p>そこで、舗装を打ち替えて平坦性を確保することで、交通の安全性や地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 既設幹線道路にかかる今後3年間の舗装改修計画 8路線/延長:5090m※ ・うち当路線の計画延長: 2,156.75m(※に対する割合42.4%) ・うち令和元年度整備延長:896.75m(※に対する割合17.6%)</p>				
補助事業の内容	<p>全体工事延長 L=2,156.75m (H29年度 L=380.0m) (H30年度 L=880.0m) (H31年度 L=896.75m)</p> <p>道路幅員 W=5.6m~8.5m 舗装工一式</p>				
補助事業の始期及び終期	平成29年度から令和元年度				
事業費及び交付金額		H30年度以前	令和元年度	令和2年度以降	計
	事業費	円 51,956,640	円 25,386,900	円 0	円 77,343,540
	交付金額	円 49,800,000	円 22,000,000	円 0	円 71,800,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 平成29年度より事業が開始し、当初の計画通り完了した。アンケートの結果から、騒音及び振動が改善されたとの回答が多く得られたことから、地域住民の生活環境の向上が図られたと判断する。</p> <p>また、路面状況が改善されたことにより、交通安全面について向上したと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 工事のお知らせ、工事看板、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び狭山市公式ホームページに調整交付金活用事業であることを掲載。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	<p>平成29年度より3年間の事業であり、本年度計画どおりに完了したことから、舗装の打ち替えによる交通の安全性や地域環境の改善をすることが図られた。</p> <p>また、アンケート結果については、夜間工事に対して好意的な意見が多く見受けられ、苦情もなく進められたことから、来年度以降の他路線事業においても、工事時間帯について交通量・周辺状況等を勘案し、周辺への影響を配慮し事業を進めるよう努める。</p>				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	交通施設:道路維持作業車購入事業				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市入間川1-23-5				
補助事業の成果の目標	<p>当市の道路維持作業車は、道路施設等の維持管理作業のため、ほぼ毎日使用し、道路交通の安全を確保している。 更新する道路維持作業車は購入後10年以上経過しており、老朽化が著しいため、運用に支障を来す可能性がある。 については、老朽化した車両の更新を行い、道路施設等の安定的な維持管理と、道路陥没や災害時の緊急対応に備えることで、市民の道路交通上の安全と生活環境の安定を図る。</p> <p>【参考指標】 道路維持作業車 年間出動日数231日(平成30年度)</p>				
補助事業の内容	道路維持作業車1台購入				
補助事業の始期及び終期	令和元年度				
事業費及び交付金額		30年度以前	元年度	2年度以降予定	計
	事業費	円 0	円 4,557,720	円 0	円 4,557,720
	交付金額	円 0	円 4,000,000	円 0	円 4,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 車両更新後の作業員への聞き取り調査の結果、作業効率が上がったとの意見のほか、重機や器具の積込みが迅速化したとの回答が得られた。 については、車両の更新により道路施設等の安定的な維持管理に寄与したため、市民の道路交通の安全と生活環境の安定を図ったと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] ・車体に交付金事業であることを明記 ・基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び公式ホームページに掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:小学生学習支援事業				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市内小学校(15箇所)				
補助事業の成果の目標	<p>本市における小学生の学習課題の一つに算数科の基礎基本の定着があり、全国学力テストや人間地区学力調査等において伸び悩んでいる状況が毎年結果として出ている。そこで、外部の専門講師によって学校の学習指導を補完するとともに、学習の支援をすることにより、基礎的基本的な内容を身に付けさせ、学力の向上を促す。</p> <p>これにより、児童の学習への興味・関心をさらに高め、分からないところや学習の躓きを無くしていくとともに、算数科への自信をつけさせることで、参加する児童一人一人の学力の定着及び向上を図る。</p> <p>【参考指標】 市内小学校第4学年の算数を苦手と感じている児童数:384人(平成31年3月26日現在事前アンケートによる。)</p>				
補助事業の内容	学校の授業以外で児童が学習する機会を設け、児童の学習への興味・関心をさらに高め、分からないところや学習の躓きを無くするため指導・支援をしていく。				
補助事業の始期及び終期	令和元年度				
事業費及び交付金額		H30年度以前	令和元年度	令和2年度以降	計
	事業費 (交付対象事業費)	円 0	円 8,484,960 (8,091,160)	円 0	円 8,484,960 (8,091,160)
	交付金額	円 0	円 8,000,000	円 0	円 8,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 算数科の学習内容が身につけているかについては、事前事後アンケートの結果において身につけている・だいたい身につけていると回答した児童が41%から91%に向上、算数科の勉強に自信があるかについては、事前事後アンケートの結果において自信がある・だいたい自信があると回答した児童が46%から82%に向上した。事前事後アンケートの結果の変容から、情意面において算数科の学習に対する肯定的な考えが向上したことが伺える。事前事後テストの変容をみると、事前テストの正答率が85%、事後テスト(事前テストでの正答率が低かった問題を10問抽出)の正答率は95.6%となり、10.6%向上した。少人数で指導・支援を行う小学生学習支援事業に参加し続けたことにより、児童の学習への興味・関心をさらに高め、分からないところや学習の躓きを無くすことができたと考えられる。また、算数科への自信が付き、一人一人の学力の定着及び向上が図られたと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 児童及び保護者向けの募集案内、狭山市公式ホームページ、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」に特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用している旨を掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無し				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し				

事業評価書

補助事業名	医療に関する事業:予防接種助成事業									
補助事業者名	狭山市									
実施場所	狭山市内医療機関									
補助事業の成果の目標	<p>予防接種法に規定されている麻疹(はしか)・風疹(三日はしか)は感染力の強い疾病であり、また、ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、破傷風は感染すると重篤になる場合が多い疾病である。これに対して、最も有効な対策は発生の予防であり、その手段として、予防接種により免疫を獲得することが重要とされている。</p> <p>本市では、予防接種に要する費用を負担することなく、接種を受けられる環境を整備するとともに、市民に向けて適切な情報提供を行っており、対象者の 割以上が接種を受けている状況である。そこで、本事業を継続して実施し、ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、麻疹(はしか)、風疹(三日はしか)、破傷風の発生及びまん延の防止に取り組むことで、市民の健康増進を図る。</p> <p>【参考指標】 令和元年度麻しん、風しん接種対象者数:2,062人(令和元年12月31日時点) 令和元年度四種混合(ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、破傷風)接種対象者:996人(令和元年12月31日時点)</p>									
補助事業の内容	ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、麻しん、風しん、破傷風に係る予防接種費の助成									
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成23年度から令和7年度 基金の処分:平成24年度から令和8年度									
事業費及び交付金額	基金造成額(A)					基金処分額(B)	基金残額(A)-(B)	継続事業に要した額		
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益				計	円
	23	62,216,000				62,216,000		62,216,000		
	24	72,468,000				72,468,000	40,000,000	94,684,000	46,154,905	
	25	56,009,000				56,009,000	25,000,000	125,693,000	26,070,500	
	26	25,000,000				25,000,000	25,000,000	125,693,000	25,407,839	
	27	10,000,000				10,000,000	24,000,000	111,693,000	24,437,997	
	28	29,749,000				29,749,000	24,000,000	117,442,000	24,657,396	
	29	10,086,000				10,086,000	23,000,000	104,528,000	23,485,058	
	30	1,900,000				1,900,000	40,000,000	66,428,000	52,145,890	
1	10,000,000				10,000,000	42,000,000	34,428,000	53,716,000		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 麻疹・風疹及び四種混合予防接種助成事業は、令和元年度の接種対象者の8割以上が予防接種を受けていることから、市民の健康増進が図られたと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 「健康カレンダー」、狭山市公式ホームページ、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」に特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用している旨を掲載</p>									
事業の改善措置及び今後の対応	無									
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無									

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:中学生学習支援事業								
補助事業者名	狭山市								
実施場所	狭山市内中学校(8箇所)								
補助事業の成果の目標	<p>本市の中学生の学力は、平成25年度までは全国及び埼玉県の平均と同程度であったが、平成26年度及び平成27年度については下回ってきているという状況にあり、また、家庭学習の時間も全国及び埼玉県に比べ短いという結果が出ている。これらを踏まえ、中学生の確かな学力の定着及び向上が課題となっている。</p> <p>そこで、学校の学習指導を補完するとともに、家庭学習の励行を促すため、各中学校区毎に生徒が学校の授業以外で学習できる環境を整え、多くの生徒の参加を促す。</p> <p>これにより、生徒の学習への興味・関心をさらに高め、分からないところや学習の躓きを無くしていくとともに、多くの生徒が家庭学習の習慣を身につけることで、参加する生徒一人一人の学力の定着及び向上を図る。</p> <p>【参考指標】 市内中学校の生徒数:3,413人(平成30年1月20日現在)</p>								
補助事業の内容	学校の授業以外で生徒が学習する機会を設け、学習活動を支援する。								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成27年度から令和7年度 基金の処分:平成28年度から令和7年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処分類 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	27	16,106,000				16,106,000	0	16,106,000	0
	28	14,000,000				14,000,000	7,470,000	22,636,000	7,476,300
	29	14,000,000				14,000,000	6,500,000	30,136,000	6,775,054
30	0				0	6,400,000	23,736,000	6,505,763	
01	0				0	7,000,000	16,736,000	7,233,818	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 学習習慣の定着について、参加生徒へのアンケートから、令和元年度埼玉県学力・学習状況調査の埼玉県結果を上回る割合である、9割以上の参加生徒が家庭学習を行っているとしており、また、家庭学習の習慣が身につけてきたとの意見が7割以上、家庭での勉強のやり方が分かってきたとの意見が7割以上、定期テストに向けての勉強が計画的にできているとの意見が7割以上であることから確かな学力及び家庭学習習慣の定着が図られたと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 生徒及び保護者向けの募集案内、狭山市公式ホームページに特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用している旨を掲載</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								